

おばなざわ

ボランティアだより

第28号

平成31年3月31日発行
編集発行

尾花沢市社会福祉協議会
尾花沢市ボランティア連絡協議会

東光館内 ☎22-1092

ボランティアってなあに??

地域や社会をよりよくするために、自分のできることを自らすすんで行う活動です。ボランティアを通して、さまざまな体験をしたり、いろいろな価値観や個性を持った人と出会うことで、地域や社会、自分自身について新たな発見があり、自分自身を成長させてくれるとともに人生を豊かにしてくれる力を持っています。

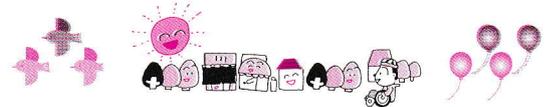


今年もありがとう!! 除雪ボランティア



ありがとう
笑顔がうれしい
こちらこそ





支え合いの活動を目指して

尾花沢市ボランティア連絡協議会

会長 加藤 朋子

5月から元号も変わり、間もなく平成の時代も終わります。平成の日本、多くの自然災害が発生しました。

特に忘れてはならない平成23年に発生しました東日本大震災。

昨年6月に、被災地宮城県名取市閑上に視察研修に行きました。

震災から8年が過ぎた今でも復興が思うように進まず、災害の傷跡が生々しく残っており、災害の大きさを物語っていました。

平成30年は大阪府北部地震、北海道東部地震、7月の豪雨災害も記憶に新しいところです。

本県においても8月の豪雨により戸沢村が甚大な被害にみまわれました。

本市でも地域により避難勧告が発令され避難した住民も多かったです。

自然災害は、どこでも、いつ起こるかわかりません。

そんな災害時には、必ずボランティアの力が影の支えとなっています。

そして今、新たにボランティア活動に必要とされているのは、被災者に寄り添い被災者が安心できるために、顔の見えるボランティア活動と関係づくりです。

本市には、ボランティア連絡協議会を始め、福祉ネットワーク(福祉隣組)の組織があり、住民同士の助けあい、共助の地域づくりを行っています。

現在、顔の見える支え合いの活動を行っているのが、除雪ボランティアではないでしょうか。

市内外からの多くのボランティアの方々の中に、地元の人顔があればお年寄りの方も安心して除雪をお願いできるかと思えます。

私たちボランティア連絡協議会は、日々は自分たちの組織の中の活動をしています。年に2回のボランティアスクールやリーダー研修会等で顔の見える関係づくりを構築しながら、支え合いの活動を目指しております。

これからも関係団体等と連携しながら、活動を続けていきたいと思っています。

尾花沢市ボランティア連絡協議会

ボランティアスクール

市ボランティア連絡協議会では、会員対象としたボランティアスクールを2回開催しました。

1回目は、宮城県名取市閑上地区の視察を行いました。震災から7年、「閑上震災を伝える会」の方のガイドで街を一周してきました。

2回目は、昨年度好評だった議会傍聴を行いました。傍聴後は、日頃はそれぞれに活動している会員同士で交流を図り、情報交換等しました。



市ボラ連では一緒に活動してくれる団体・個人を募集しております。(社会福祉協議会 ☎22-1092)



ボランティア団体を
紹介します!

尾花沢市更生保護女性会

私達更生保護女性会は、女性の立場から犯罪や非行のない明るい地域会づくりを支援するボランティア団体で、会員は111名です。

主な活動は各小学校での読み聞かせ、母親の研修会時の託児ボランティア、長寿園では毎月4人での喫茶ボランティア。又、JAみちのく村山尾花沢営農センターのご協力により、特産の西瓜をバスに積んで山形の更生保護施設『羽陽和光会』母子生活支援施設、児童養護施設への西瓜訪問は大変喜ばれ、『羽陽和光会』は25年目を迎えます。

月1回の花笠地域安全活動では、他の団体と連携をして防犯や交通安全について呼びかけ、その他依頼のあったボランティア活動に参加しております。

会員研修として裁判所、刑務所視察、他の更女団体との交流で会員の研鑽を深めております。年3回発行の『更女だより』により私たちの活動も知られるようになり嬉しく思います。

この度、平成30年度ボランティア功労者に対する『厚生労働大臣表彰』を受賞致しました。長年の会員一人一人の活動が評価され嬉しく思います。これからも明るい地域づくりを支援するボランティア団体として会員が更生保護の熱意を持ち、地域の方々と共に活動して参ります。

(会長 鈴木千鶴子)



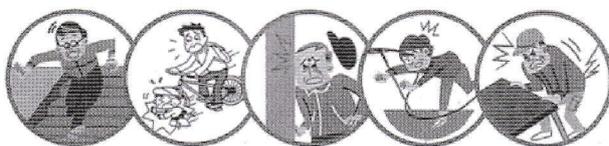
安心して
活動する
ために...

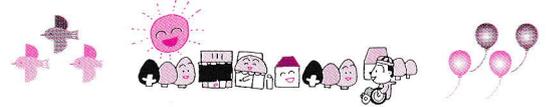
ボランティア保険にご加入ください

ボランティア活動中の事故によりケガをされた場合や、事故により他人にケガをさせたり、他人の物を壊してしまった場合に備えて、ボランティア保険があります。様々な活動スタイルに合わせたプランもございますので、詳しくは社会福祉協議会 (Tel22-1092) までお問合せください。

- 基本タイプ
A : 350円 B : 510円
- 天災タイプ (基本タイプ+地震・噴火・津波)
A : 500円 B : 710円

この他、ボランティア行事用保険もございます。





サマーヤングボランティアスクール 2019

平成30年7月12日にサマーヤングボランティアスクールを開催しました。市内の小中高生13名が参加され、福祉体験などをしました。



はじまりの会。アイスブレイクで緊張をときほぐして…



お昼はボラ連の役員特製カレー！美味しかったです!!



ゲストティーチャー鈴木俊仁氏の話の後、さっそく車イスで街に出掛けよう！



ツルハさん、今年もお世話になりました



高齢者疑似体験をして、思いやりや助け合うことの大切さを感じました



いきいきボランティア
みんな、い〜えがお!!!